

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名
1	岩倉小学校 岩倉小学校	6年 6年	土居奏太 國政遙希
テーマ	1. 小学校の生活について		
提案要旨	他校との交流を増やしてほしい		
【提案内容】 他校との交流がしたい。 鳥取市では、他の学校との交流が少ないので増やしたいと思った。 1つ目は中学校、高校に行ったときに、友達が作りやすいので、今のうちに交流をしておく、知っている人と出会い、安心できると思ったから。 2つ目は、前期の6月の1ヶ月間に1回、後期の9月の1ヶ月間に1回、他校と一緒に行事などを楽しむことが必要だと思ったから。 3つ目は、協力する力、コミュニケーション能力を身につけることが必要だと思ったから。なぜなら、社会に出たときに役に立つから。 僕たちはこれから鳥取市のなかでやっているイベントを積極的に参加したい。 ぜひ、他校との交流を増やしてほしい。			
【市長回答】 とても素晴らしいご意見だと思う。 特に小学校から中学校に行くと、友達もみんな変わったり、学校生活も様変わりすることで少し不安になったり、そういうこともあるので、小学校のときに、スポーツ交流等は、多分やっていると思うが、他校の皆さんいろいろな形で交流をしていくということはとても素晴らしいことだと思う。 これは教育委員会の方になるが、そのような機会が増やすことができないかというようなことも、教育委員会の方とも話し合って皆さんの意向に沿えるような、そのような取り組みをしていきたいと思う。			
【担当課回答】 《総合教育センター》 他校との交流により、中学校入学の際の安心感にもつながり、自分の学校の友達だけでなく、一緒にがんばっていく仲間が増えることはとても素敵なことと考えます。 交流する目的をはっきりさせながら、まずは同じ中学校区や近隣の学校で行ってみたいことを先生や学校の友達に提案してみてもいいと考えます。 教育委員会としまして、ご提案いただいたことを各学校の校長先生に伝えたいと思います。			

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名
2	久松小学校	6年	山家一華
テーマ	1. 小学校の生活について		
提案要旨	スマイル月間の期間を延ばしてほしい		
【提案内容】 スマイル月間の期間を延ばしてほしい。 6月の1カ月はスマイル月間でいじめを減らすことを中心に、運営委員会などが色々な取り組みをしている。実際その期間では、他の人の良いところ紙に書く取り組みで、他の人の気持ちをよく考えるようになったり、いい所をまねしたりする意識が全体的に高まっていると感じている。 また、学校の終わりにする帰りの会では、いいこと見つけをするが、スマイル月間の間はいいこと見つけの発表が特に多かったと振り返る。 しかし、スマイル月間が終わってしまうと、その効果は消え、小さな喧嘩が多く起きるようになってしまうのが現状である。私はこのようになってしまうのはスマイル月間の期間が短いからだと考えている。 そのため、その期間を延ばして、スマイル月間にはいいことがたくさんあるので、その効果が長く続くようにして欲しいと思っている。そうすると、みんなが仲良く楽しく学校生活が送れるし、さらに大きないじめを減らすことにも繋がると思う。			
【市長回答】 みんながそれぞれ互いにいいところを見つけ合ってということは、いじめの防止や、楽しい小学校生活、良い学校生活に繋がっていくと思う。 そのような月間、月間でなくても、1年通して、みんなのいいところを見つけようという意識を持っていたくということは、とても大切なことである。 このスマイル月間を延ばすというのがいいのか、あるいは他の形で、何か同じような取り組みができるのか、これは学校の先生方のいろいろな考えもあると思うため、こういった意見をいただいたということを、教育委員会を通して各学校に伝えて、できるところから取り組んでいただくということになろうかと思う。			
【担当課回答】 《総合教育センター》 スマイル月間では、みんなが仲良く楽しい学校生活を送ることができるように、各学校で考えられた工夫ある取組をされています。そして、スマイル月間以外のときも、お互いのよさを認めたり、人の気持ちを考えたりする取組はぜひ行ったり、続けたりしていただきたいと思います。 鳥取市全体でのスマイル月間は6月～7月に行っていますが、いじめをなくすために各中学校区や各学校の実態に応じて、期間を延長したり、独自で期間を設けたりするような取組ができないかをリーダー研修会や各学校の代表委員会で話し合ってみてはと考えます。 教育委員会としまして、ご提案いただいたことを各学校の校長先生に伝えたいと思います。			

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
3	修立小学校	6年	高知莉衣			
テーマ	1. 小学校の生活について					
提案要旨	いじめ、虐待を防止する取り組みを増やしてほしい					
【提案内容】 いじめ、虐待を防止する取り組みを増やして欲しい。 ネットで調べてみると、全国的な小学校では、いじめのようなことを言われていると思っている小学生が64%という現状がある。 それから、虐待では同じ学年の友達から虐待のようなことをされていると相談された。 そこから私は、虐待への大人の関心を増やしたり、ポスターを作ったり、いじめや虐待に関するアンケートを定期的に行ったりし、悩んでいることや、誰かに話したいことがある人が、先生やスクールカウンセラーの方と接する機会を増やして、身近にすることが大切だと私は思う。						
【市長回答】 いじめや虐待、これはみんなでなくしていくんだと、そういった強い気持ちを持って取り組んでいくということで、必ずなくしていけるとに思っている。また、そのように思っ取り組んでいく必要がある。 これからも、鳥取市としても、いじめとか、そういったことが起こらないような環境をしっかりと作っていくということが必要であると思っており、もしそのようなことがあったら、速やかに対応していく。このことが求められると思いますので、皆さんと一緒に、いじめがなくなるよう、鳥取市としても取り組みたい。						
【担当課回答】 《総合教育センター》 鳥取市教育委員会としても、いじめや虐待が防止できるような取組を児童の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。 いじめや虐待において、誰かに相談できることが大切だと思います。スクールカウンセラーを交えた授業などで相談する方法を学んだり、相談されたときにどうしたらよいのかを考えたりするような機会を作ったり、一人一台端末を活用をして相談の有無を聞いたりするような環境づくりを進めているところです。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名
4	中ノ郷小学校	4年	藤松勇人
テーマ	1. 小学校の生活について		
提案要旨	中学校区共同の遊びをテーマにしたイベント企画、イベントの開催してほしい		
【提案内容】 中学校区共同の遊びをテーマにしたイベント企画、イベントを開催して欲しい。 理由は、小学校から中学校に進学するときに、多くの場合、幾つかの小学校から多くの生徒が集まって中学生になる。中学校では慣れない環境の中、多くの初めて出会う同級生とちゃんと友達になれるだろうか心配でいっぱいの中、多くの中学生が悩んでいたと思う。 そこで、中学校区で共同の遊びをテーマにしたイベント企画を定期的開催することで、中学校入学前に他の小学校区の人々とあらかじめ知り合っておくことで、新中学生の不安を減らし、スムーズな新生活を送れると思う。 他の学校と一緒に佐治に行ったり、他と一緒にいくことで、もっと仲良くなれると思う。 1年に4回だけでもやり、みんなの知っている鬼ごっこや複雑なルールがない遊びをしたらいいと思う。足の不自由な人も、運動が苦手な人でも楽しめる輪投げなどをしてみればいいと思う。			
【市長回答】 とても素晴らしい提案をいただいた。 小学校のときに、近い将来一緒に勉強をしたり、生活をしていく中学校区の他校の皆さんと、いろいろな形で交流を深めていくという機会を持つことができないか、教育委員会の方とも相談しながら、取り組んでいきたい。			
【担当課回答】 《総合教育センター》 小学校のときから中学校区の友達と仲良くなり、つながっていることはより安心して豊かな中学校生活を送るためにも、とても有意義な取組だと考えます。中学校区の皆さんが集まる体験入学のときなどに実施するのも1つの方法と考えます。 今回、提案のあった遊びをテーマにしたイベントはもちろん、年間を通して学習や行事等で交流できる機会ができないのかをぜひ、各学校や中学校区のリーダー研修会等で話し合ってみてほしいと思います。 教育委員会としまして、ご提案いただいたことを各学校の校長先生に伝えたいと思います。			

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
5	修立小学校	5年	金丸旺生			
テーマ	1. 小学校の生活について					
提案要旨	校則を見直してほしい					
【提案内容】 校則の見直しについて提案する。 私は憧れのサッカー選手の髪型を真似している。 小学校では髪型について問われることはないが、中学校では、校則によって様々な制限がある。 例えば、髪の毛が眉毛にかかってはいけないという校則や、ツーブロックにしてはいけないなど、髪型について定められていて、中学校に進学するときには髪型を見直さなければならない。 SDGsの17項目の中にも挙げられている、ジェンダー目標を目指すこの時代に、今の校則はふさわしいのだろうか。 私は今日の提案にあたり、校則や学校の決まりで疑問に思うことを、6年生にアンケートをとった。その結果、43%の人が校則や学校の決まりに疑問を持っていることがわかった。 男女両方とも前髪が眉毛にかかってはいけない。小学校の通学帽が男女で分けられていることなど、たくさんの疑問が挙がった。 そしてそのような疑問を先生にぶつけたことがない人が70%もいた。もう少し自分たちの考えを先生にぶつけてもいいと思った。 グループワークで話し合い、髪型以外にも、シャープペンを使ってはいけないことや、子どもだけでお使いや交通機関などを使ってはいけないのは、なぜかという意見があった。 私たちの集団生活を守るルールが必要だが、納得できていなくても、諦めている人も多いのかもしれない。誰もが自分らしくいるために、校則を見直してみてもどうか。						
【市長回答】 自分らしさをみんながしっかり実現できて、それをお互いに認め合うということは、とても重要なことである。 また一方では校則というのは、皆さんを守っていくということも1つの理由であり、校則があるその理由だと思う。その辺りをどのようにバランスをとりながら、自分らしさ、自己表現、自己実現を図っていくのかというようなことを考えていくということだと思う。 自分たちの意見を先生方にぶつけていく、それは大いにやっていただきたいと思っている。いろいろな疑問があったり、不思議に思ったり、おかしいなと思うような方は、日々、学校や先生に遠慮なくぶつけていただきたい、聞いていただきたいと思っている。						
【担当課回答】 《総合教育センター》 児童の皆さんや先生方と一緒に校則について、話し合うことはとても有意義なことだと思います。校則の中で決められている内容はなぜあるのかということも小学校のみならず、中学校とも連携しながら、その意義や影響を考え、議論するプロセスが大切なことです。そして、決まったことは先生方だけでなく、児童の皆さんでしっかり守り、徹底していくことが必要です。自分も周りの人にとっても、自分らしく安心安全な学校生活を送ることができるよう、まずは自分の学校の校則をあらためて見ていただき、必要に応じて先生方に相談をして話し合ってみてください。 教育委員会としては、今後、各学校でよりよい話し合いが進むよう、校則を見直すための視点などを示す準備をしているところです。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
6	富桑小学校 富桑小学校	5年 5年	上住芹南 上住舞瑠			
テーマ	1. 小学校の生活について					
提案要旨	安全にプールの授業ができる環境を整えてほしい					
【提案内容】 プールの授業を安全にできる環境を考えていきたい。 今はプールサイドがコンクリートで熱い。ニュースで火傷をした人がいると聞いた。また暑くて熱中症が心配である。 暑かったり、雨や雷で授業ができないこともあったが、水泳の授業は自分の命を守るために重要だと思うため、安全に水泳ができると良いと思う。 そのため、産業体育館のように屋根のあるプールが良いと思う。 また、藻が生えないプールにして欲しい。ぬるぬるしてプールの中で滑ったりしたことがあるからである。 また、コンクリートの壁や地面なので怪我をする心配があるので、壁や地面を安全な素材にするとプールの授業が安全にできると思う。						
【市長回答】 今各学校にプールがあるが、例えば、これを産業体育館のような屋根がある、1年中使用できるようなプールで事業を行うということも1つの選択肢としてあるのではないかと考えている。実はそのようなことも教育委員会と検討してみたいと思っている。 安全で、楽しく、プールでの水泳の事業ができるようにと、そのような環境をどのようにこれから整えていくのかということは課題だと思う。この度の提案をいただき、早速検討に入らせていただきたい。						
【担当課回答】 《学校教育課》 夏の暑さ等、天候に関する不安や施設面からの心配事から、安心・安全に水泳学習ができる環境が必要であるという大変貴重なご意見をいただきました。みなさんが学習する場は、どこよりも安全でなくてはならないと思っています。 全ての学校プールを屋根付きにしたり、けがをしにくい素材に変えたりするためには、長い時間とたくさんのお金が必要なことから、現在、公共プールや民営プールなど、学校外のプール施設を使った水泳学習をしようという考え方が全国的に広がってきています。 鳥取市の学校でも、このような取組ができないか話し合う会議を、今年度からはじめています。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
7	久松小学校	6年	油谷美祐			
テーマ	1. 小学校の生活について					
提案要旨	A I やタブレットに頼りすぎない昔の学校生活を残してほしい					
【提案内容】 A I やタブレットに頼りすぎずに、昔の学校生活を残したいと思っている。 A I などの情報技術が進み、教科書、また未来では教師までA I になってしまうかもしれない。 どんどん便利になってきている。このデジタル時代はこれからは避けられない。 そのため、学校でその問題や危険さを実際にタブレット等を使って学ぶことも大切だと思う。しかし、私はすべてA I やタブレットに頼りすぎることは反対である。 江戸時代上方では、みんなで読んだり書いたり、そろばんを教えたりして学んでいたそうである。例えば、そろばんも今は計算機があるからしなくていいと思っている人がいるかもしれないが、そろばんは計算ができるだけではなく、集中力などの様々な面で力がつく。 私も実際にそろばんを続けていて楽しいし、生活でも役に立っていることが多いと思う。五感を活性化するためにも、そろばんを取り入れて欲しい。また、教科書はデジタルよりもアナログが良いと思う。デジタルだと荷物も減り書き込みしやすいですが、酒井邦嘉 東京大学教授によると、考える前にすぐ検索を学習だと勘違いしてしまう。デジタル化された教科書の内容は記憶に残りにくいと言われていた。つまり、デジタルだと考えることが減り、頭に残りにくい。 また、アナログだと健康にもよいという点がある。私も実際、画面をずっと見ていたときに目が疲れたことがある。文部科学省 令和3年学習者用デジタル教科書の効果影響等に関する実証研究事業の成果については、小学校の中高学年の4割が、目、首、肩の疲れや痛みを実感した。つまり、身体にも影響を及ぼす場合があるのである。 掃除も機械に任せず、雑巾で一生懸命磨くことが大切だと思う。雑巾で一生懸命磨くことで、心も磨くことができる。汚れが綺麗になると、自分の達成感が湧いたりすっきりする。 人手不足の中、すべてA I や機械に任せる気持ちもわかるが、できるだけ昔のような学校生活も取り入れて欲しい。 知識を得るためにタブレットを使い、考えることはみんなでするなどの向き合い方も考えることが大切だと思う。市長、教育長、実現するようよろしくお願いします。						
【市長回答】 私もその通りだと思う。 デジタル化の社会、DXの推進ということで、すべてをデジタル化して便利にして効率化を図っていくというような1つの流れがあるが、やはり人間として、そろばんがアナログの代表的なものだと思うが、デジタルだけではなくアナログの良さというのはあると思う。 そのようなものも、やはり学校の中で取り入れていく。あわせて、それもいろんな形で事業の中でも考えていくということは、これから必要なことであると思う。 デジタル化が進んでいく中で、そのようなことの重要性、大切さも今ちょっと考えてみるということも必要だと思う。 すばらしい意見をいただいたので、早速、それを今後に生かしていきたいと思う。						
【担当課回答】 〈学校教育課、総合教育センター〉 これからの社会では、情報技術がさらに高度化し、ますますデジタル化が進むことが予想されます。これからの社会を持続可能なものにし、私たちがよりよく生きていくためには、生成A I 等、様々なテクノロジーを、自分や他者を幸せにし、社会を豊かにするために活用していくことが大切だと考えています。そのために、子どもも大人も、テクノロジーのよりよい使い手となるよう、学び続けていかなければなりません。 そして、そろばんに代表されるように、アナログの良さを学校生活に生かしていくことも大切です。タブレットを使って調べ物をしたり、プログラミングを学んだりすることと同時に、本を読んだり、友達と話し合ったり、グループで活動したりすることで、より学びの質を高めることができます。友達と一緒に掃除をしたり、運動をしたりすることを学校生活で体験していくことも、豊かな人間関係を育むうえで大きな意義があると考えます。 本市では、学ぶことの楽しさを感じられる魅力ある授業づくりやICTを効果的に活用した授業、豊かな関わりによる自治力のある集団づくりに取り組んでいます。 今後も、いただいたご提案を参考にし、デジタルか、アナログか、どちらか一方ではなく、デジタルの良さとアナログの良さを組み合わせ、より充実した学習環境の構築に努めていきます。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
8	岩倉小学校	6年	霜村 優			
テーマ	2. 鳥取市の子育てについて					
提案要旨	大きな公園を増やしてほしい					
【提案内容】 私が提案するのは公園について。 公園を大きいものをふやしミストをつけて欲しい。 私が遊んでいる公園は小さくて遊具も3つしかない。しかも年齢制限でそのうちの2つが使えないため、あまり遊べない。 そこで、小さい子から中高生まで遊べて、ボールを使って遊ぶ場所、鬼ごっこなどの走る遊び、遊具がたくさんある場所の3つのエリアに分かれた公園がほしい。私の他にも同じ意見の友達がいるためそんな公園がほしい。 公園を設置することでみんなが楽しく過ごせると思う。						
【市長回答】 鳥取市にはたくさんの公園、いろいろな公園があり、公園愛護会の皆さんにその整備等をお願いし、それを市民の皆さんに広く活用していただいているところである。 いろいろな制約もあったりするのではないかなと思うが、町の中の公園というのは、例えば、災害が発生したときの一時的に緊急避難する場所としてもとても重要な役割がある。 そして、皆さんが、伸び伸びと遊んだり、友達と交流したり、そのようなとても大切な場であると思っている。 これだけ暑い日が続くと大変であるため、例えばミストのようなことも、増やしていく必要があるのかと思っているし、これから皆さんが遊んで楽しく過ごせる場所として公園の充実を図っていききたいと思っている。						
【担当課回答】 《河川公園課》 本市には、大小さまざまな公園が400箇所近くあります。 町中の公園には特にいろいろな制約があり、公園によっては遊具を増やすことが難しい公園などもあります。 そのような現状を踏まえまして、市民の皆様が幅広く活用できるよう、遊具更新の時期などに地元の皆様と相談しながら見直していきたいと考えています。 また、近年の猛暑、酷暑の状況の中、多くの方々が利用する大きな公園ではミストを設置するなど対応を行っています。 今後も、皆様が安全・安心な場所として公園の充実を図っていききたいと思います。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
9	久松小学校	6年	松下心咲			
テーマ	2. 鳥取市の子育てについて					
提案要旨	子どもが気軽に集まって交流し、様々な体験ができる場所を増やしてほしい					
【提案内容】 今ある施設に子どもが気軽に集まって交流し、様々な体験ができる場所を増やして欲しい。 なぜかという、最近は共働きが多く、子育てに関わる時間が取れない家庭が多くなってきているから、このような場所が増えると、家庭への負担が少なくなると思うからである。 また、私たちもそのような場所があると、友達と交流したり、体験したりすることができて、楽しく過ごすことができると思う。そしてそのような場所が各校区に1つずつあると、家からでも簡単に通うことができ、親が送らなくても行くことができる。 施設を作るのではなく、今ある施設に子どもが気軽に利用できるような場所を作って欲しいと思っている。 このような場所が増えると、安心して子育てができるだけでなく、子どもも楽しく過ごせるまちになると思う。						
【市長回答】 新しい施設をつくるということじゃなくて、今ある施設を、活用していけばいいのではないかという、すばらしい提案をいただいた。 両親や保護者の皆さんが働いているということで、学校から帰っても皆さんだけで過ごしている時間もあると思う。 その中で、放課後児童クラブ等も各地域にあり、それぞれ活用していただいているという実態もあると思うが、やはり今ある施設を上手に使いながら、皆さんが安心して過ごしていただけるような、そのような居場所をこれからも、鳥取市として各地域に、いろいろな形で放課後児童クラブも含めて確保していくということは、とても大切なことであると思っている。 一気にこれを増やしていくということはなかなか難しいと思うが、とても重要なことについてご提案をいただいた。						
【担当課回答】 《資産活用推進課》 事業実施の際には、未利用施設の状況や施設の複合化の検討状況について事業担当部署と情報共有を行いたいと思います。 《人権推進課（中央人権福祉センター）》 地域食堂は、今ある施設を活用した運用を中心に中学校区では17校区中16校、小学校区では43校区中30校の運営が実施されています。 地域食堂は、食を通じて幅広い世代の地域住民の居場所としても位置づけられていますので、ご活用ください。 《協働推進課》 地区公民館は市内に60館と1分館あり、おおむね小学校区ごとに設置しています。広く市民に開放されているスペースや図書も整備されている公民館も多数あります。夕方5時ごろまでは事務室に職員が常駐していますので、放課後子どもだけでも安心してご利用いただけます。 《幼児保育課》 本市には乳幼児の親子から18歳未満までの方が自由にご利用いただける公共施設として児童館や、乳幼児の親子が交流等ができる子育て支援センターを設置しています。近隣にこのような施設がない場合でも、放課後児童クラブや、地区公民館など、お住まいの地域にある様々な公共施設をご利用いただき、交流の場としていただければと思います。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
10	久松小学校	6年	木村心咲			
テーマ	2. 鳥取市の子育てについて					
提案要旨	親が夜遅くまで帰ってこない家庭や共働きの家庭の数を調査してほしい					
【提案内容】 親が夜遅くまで帰ってこない家庭や共働きの家庭の数を調査して欲しい。 なぜかという、仕事の種類によって家に帰る時間が様々で、夜も家に帰れない家庭もあり、みんなが安心して学童などに預けることができないから。 テレビで夜の学童クラブみたいなものがあることを知り、鳥取市にもそのような場所があると良いと思った。 最初から施設を作るのは難しいと思うが、今の鳥取市の現状を調査することで鳥取市に、どれだけの人が困っているのかがわかると思う。そうすることで、どの人も安心して子どもを預けられる施設を作る第一歩になると思った。						
【市長回答】 保護者の皆さんが夜も働いていらっしゃる、そのようなご家庭もあろうかと思うが、現段階ではなかなか夜間の放課後児童クラブというのは、今鳥取市には難しいと思うが、そのような必要もあるのではないかなと思っている。 これについても研究をさせていただきたい。						
【担当課回答】 《学校教育課》 放課後児童クラブは、保護者が仕事などにより昼間家庭にいない児童に対し、放課後などに遊びや生活の場を提供する取り組みです。鳥取市では、令和6年度、40小学校区に78クラブを開設し、3,200人の児童を受け入れています。 この中には、最大20時まで開設している児童クラブが3クラブあり、土曜日などに設置校区外から通っている児童もいます。 また、保護者の仕事の状況を踏まえ、各児童クラブの閉所時刻は年々延長される傾向にあり、利用希望者のニーズに対応した取り組みを実施しています。 なお、今後、民間の事業者が夜間の児童クラブを開設する場合には、実態を把握し、市として協力ができるかなど検討していきたいと考えています。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名
11	福部未来学園	6年	平林暖也
テーマ	3. 鳥取市の防災について		
提案要旨	いろいろな避難訓練を実施してほしい		

【提案内容】

避難訓練を増やしたほうがいいと思う。
 理由は、避難訓練の回数を増やして記憶しておく、避難するルートも覚えられて、いざというときにスムーズに避難できるから。
 避難訓練では、大体が地震をやって、津波とか火事とかの避難訓練は少ないから、地震、以外の避難訓練も増やして、地震と同じぐらいの回数にして欲しい。
 それに、避難訓練をたくさんすれば、新しく安全なルートも生み出せる。
 学校ですときは、何校時にやるとかそういう予告なしで、抜き打ちにした方がいいと思う。なぜなら、災害はいつ起こるかかわからないから。
 最後は、避難した後に行くところ、避難所の場所と避難するタイミングを、事前に防災マップを使って知っておくとスムーズに避難ができると思う。

【市長回答】

避難訓練については、鳥取市はいろいろな形で行っている。また、各地区に自主防災会というのがあり、それぞれの地域で自主防災会を中心に、地域の皆さんでいろんな形で避難訓練に取り組んでいただいているところである。
 他の市町村等に比べたら鳥取市は早い段階で、この自主防災会等による、避難訓練等々について取り組んでいただいていると認識をしているが、ご承知のように今、全国で様々な災害が多発している。
 それも頻発化、たくさん回数が増えてきているということと、激甚化、非常に大きな被害が発生をしているということ、それから、いつどこで発生してもおかしくない状況で、この避難訓練、防災訓練をこれからも、その内容を充実しながら回数を増やしていくということは、とても大切なことと思っている。
 その際には鳥取市の防災マップ等も参考にして活用していただければ大変ありがたいと思う。
 また、鳥取市では防災アプリというのを作っており、これは日本語だけではなくて9ヶ国、多言語で対応できるような防災アプリを作っている。ダウンロードして活用していただければ非常にありがたい。
 これからもいろいろな形で、いざ災害が発生しても、できる限り被害を少なくすることにしっかりと取り組んでいきたい。
 また抜き打ちの訓練がいいのではということであったが、あらかじめお知らせした方がスムーズに行く場合もあり、実際に災害が発生したということと、紛らわしいところもあるため、その辺は工夫しながらそれぞれの地域で訓練を行っていただければありがたい。
 鳥取市としても、9月10日が防災の日である。これは全市的に、昭和18年9月10日の鳥取大地震を1つの教訓にしていこうということで、毎年9月10日に、鳥取市の防災訓練を行っているが、この防災訓練もいろいろな形で毎年行っている。これもしっかりと取り組んで行きたい。皆さんも、防災に関する意識を持っていたき、災害対応していただきたいと思う。
 そのことが被害を少なくしていくということに繋がっていくと思うので、よろしくお願いしたい。

【担当課回答】

《危機管理課》

鳥取市では、町内会単位で自主防災会が結成され、災害時に住民同士が協力して防災活動を行えるよう、災害時を想定したさまざまな訓練を行い、地域の防災力の向上に努めておられます。特に、地震はいつ起きるかかわからない災害であり、学校に加えて、地域での訓練にもご家族と参加していただければ、災害発生時の混乱なく避難することにつながると思います。
 市長も仰っておられますが、訓練の目的や参加者等の条件によって抜き打ち訓練が有効かどうかは変わると思いますので、それぞれの訓練でご検討いただければと思います。

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
12	修立小学校	6年	尾崎令來			
テーマ	3. 鳥取市の防災について					
提案要旨	防災グッズを作る機会を増やしてほしい					
【提案内容】 私の学校では防災グッズを作る学習があるが、3年か4年のときにやったきりで、作り方などもあまり覚えていない。 そこで、防災意識を高めるためにも、それぞれの学年でスリッパや簡易トイレ、マスクなどの防災グッズを作る機会を増やし、自分で作ったグッズを使うと良いと思う。 そうすれば、使い方の確認や災害時の大変さ、グッズの改善点などもわかり、印象に残ると思う。 防災グッズは身近にある新聞紙やダンボールなど、準備が簡単なものも多いので良いと思う。						
【市長回答】 実際に新聞紙を活用して、避難所でスリッパにして使うというようなことも行っているところである。 また、皆さんにいろいろ工夫していただくことで、身近にあるものでいろいろな防災グッズがつくれるのではないかなと思う。例えばこんなものができるなどということであれば教えていただきたい。それを多くの市民の皆さんに活用いただき、広がっていくとよいと思う。						
【担当課回答】 ≪危機管理課≫ 災害発生時には必要とする物資を十分確保できない状況もあり得るため、身近にあるもので代わりになるものを作るように身に付けておくことは大事なことです。 本市が行う防災講習でも、防災レシビやビニール袋を使った防災グッズの作り方の紹介を行っており、これからもその方法について広く知らせていきたいと思っています。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
13	久松小学校	6年	青砥真穂			
テーマ	3. 鳥取市の防災について					
提案要旨	避難所設備を充実させてほしい					
【提案内容】 避難所の設備の充実を提案する。 私の考える避難所の設備は、長期保存できる食料や水、プライバシーを守れるテント、低体温症を防ぐ毛布などである。 過去の災害で、設備が足りてない避難所で体調を崩し、災害関連死された方も少なくない。 少し前にあった台湾の震災のときは、すぐに避難所が開設され、温かい食事が出た。そのことを知って私は驚いた。 鳥取市ももっと早く開設できると思う。どうしたらもっと早く開設できるか。例えば、日頃から防災を意識することも大切だと思う。普段から備えているものを点検することも大切である。設備を整えられたら避難が必要なときにみんな安心できる。 私は今朝のニュースで、能登の大震災のときに災害関連死された人は110人だったということを聞いた。 防げる命があるなら、今できることで救うことにも繋がるかもしれない。						
【市長回答】 まだまだ我が国では、この防災、災害等に対しての避難所の設営等について、改善を図っていくところはたくさんあると思っている。 イタリアでは、仮設のトイレなどがすぐ来たり、料理もフルコースで準備がされるというようなこともよく言われており、また台湾でもしっかりと避難所の充実が図られている。他の国の良い例も参考にしながら取り組んでいかなければならないと思っている。 避難所の設備の充実、これは一挙にはなかなか難しいが、できるところから充実を図っていく。できる限り避難された方が、負担にならないように、体調を崩されないような、そのような工夫はこれからも続けていく必要があると考えている。						
【担当課回答】 《危機管理課》 災害時の避難生活を良くしていくため、本市では、災害時に備えてパーティションや段ボールベッド、エコノミークラス症候群を防ぐソックスなどを備蓄して備えています。また、災害時に少しでも早く避難所を開設できるよう、避難所となる学校の鍵を公民館にも配り、地域の方が逃げ込める環境を作りました。 災害時には、公的な避難場所や備蓄品だけでは多くの避難者に行き渡るには時間がかかることも考えられるため、市民の皆さんにも普段から災害時に備えて、自宅の災害リスクの確認や、自分が必要とする薬や食べ物の備蓄を行うようお願いしているところですので、皆さんのお家の状況もご家族と確認してみてください。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
14	福部未来学園	6年	澤 花音			
テーマ	3. 鳥取市の防災について					
提案要旨	避難所を確認する取組、確認できる取組をしてほしい					
【提案内容】 避難所を確認を提案する。 私は避難所をあまりわかっていなくて、家で起きたときや学校で起きたときに避難する場所。くらいしかわかっていない。そのため、避難所を確認を提案する。 いつどこで起きてもいいように、いろんな場所を確認することが大切だと思う。例えば、家で起こったら、学校で起こったら、出かけた先で起こったらなど、いろんな場所を確認すると良いと思う。 そして、その確認を家族と一緒にマップを見て調べたり、学校の授業などでそういう時間をとって欲しい。 出かけているときには、すぐ使えるスマートフォンで確認できるようにサイトアプリを見れるのがいいと思う。また店にマップを掲示してもらい、いつでも確認できるようにしたい。						
【市長回答】 家、学校、出かけている時にと、災害は時を選ばずいつ発生するかわからない。日頃からそのようなことを、想定しながら、備えをしていくということはとても大切なことである。 スマホのサイトについても、触れていただいた。防災アプリが鳥取市の方ではあるので、そういったものも、スマートフォン等で活用していただければありがたい。 この内容等についても、さらに充実を図るようなところがあれば、実施していきたいと思っている。						
【担当課回答】 ≪危機管理課≫ 災害はいつ発生するかわからないことが多いため、普段からの備えが大切です。本市では、総合防災マップを全てのお家に配っていて、その中に「避難する時の行動を確認しよう」とのタイトルで、避難するときの行動や、事前に自宅の災害の危険性を確認することなどを絵や図を使って分かりやすくお伝えしています。 また、鳥取市防災アプリには、現在地から近い避難場所が分かる防災地図機能など、普段の備えに役立つ機能が充実していますので、保護者の方とご利用いただけたらありがたいです。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
15	久松小学校	6年	田中悠貴			
テーマ	3. 鳥取市の防災について					
提案要旨	市全体での避難訓練をしてほしい					
【提案内容】 市全体で避難訓練をすることを提案する。 理由は、市全体ではしたことがないので、した方が意識が高まっていいと思ったから。 実際にするときは、町区別で日にちを分けてやった方が小規模ですむ。 参加する人を増やすために、大勢の人が集まるイベントで避難訓練をするのも参加者が増えていいと思う。 例えば、しゃんしゃん祭りや土曜夜市で訓練をゲーム感覚で体験できるスペースを聞くのも有効だと思う。 このようにいろんなところで訓練して意識を高めるのがいいと思う。						
【市長回答】 いろんな形で日頃から訓練をしていくことで、いざ災害が発生したときの被害を最小限に食い止めるということになると思う。ゲーム感覚でおこなうことも、一部、今まで行ってきたところである。いろいろな形で、備えていくということはとても重要なことである。 市全体では、9月10日の鳥取市防災の日いろいろな関係機関等にご参加をいただき、大掛かりにやっているが、こういったものもテーマごとで、あるいは各年度ごとで工夫をしながら、いろいろな形でやっていくこととあわせて、各町内でも地域でも自主防災会を中心にいろんな訓練を行っていただきたいと思っている。 皆さんもそのような地域での訓練が行われる場合には、積極的に参加をしていただきたいと思う。よろしくお願いを申し上げる。						
【担当課回答】 ＜危機管理課＞ 鳥取市では、鳥取地震の発生した9月10日を防災の日と定め、毎年同日に総合防災訓練を行い、地震の教訓をこれから活かすため、避難所開設や炊き出しなどの訓練や、イオン鳥取店での災害体験VRコーナーでの啓発等を行っています。 また、地域の自主防災会では、町内会単位や地区単位での訓練を行っておられ、中には避難所開設ゲームや防災デイキャンプ等、それぞれ工夫されながら実施されていますので、皆さんも地域での訓練に機会があれば是非ご参加ください。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
16	城北小学校	6年	山本悠貴			
テーマ	4. 鳥取市のまちづくりについて					
提案要旨	鳥取県の良さが詰まった科学館を作ってほしい					
【提案内容】 鳥取県の良さが詰まった科学館を作って欲しい。 鳥取県にはあまりそういう場所が少ないため、実際に楽しめ、体験でき、学べる場所が欲しい。 鳥取は砂丘が有名だと思うので、風紋やしゃんしゃん祭りの歴史や、梨の歴史などを一気に見られる展示物があればいいと思う。さらに、砂丘の砂を使った工作や、小さなしゃんしゃん傘を作ったりするコーナーもあるといい。 鳥取県は星取県とも言われている星の綺麗な県である。プラネタリウムのような星の見られるコーナーがあると良いと思う。 鳥取県の良さを学べるだけではなく、鳥取の歴史を大事にできる心も生まれると思う。						
【市長回答】 鳥取市には、歴史、文化、素晴らしいものがたくさんある、そのようなことを今一度、大切にしたまちづくりということを、鳥取市も進めているところである。 中心市街地、それから各それぞれのエリアにもいろんな歴史や文化がたくさんあるので、皆さんも改めて、新しい発見をしていただきたいと思います。それとあわせて、それをいかにまちづくりに活用していくかというような視点もとても大切なことである。 素晴らしいご提案をいただいた。ありがとうございます。						
【担当課回答】 《政策企画課、観光・ジオパーク推進課、生涯学習・スポーツ課、文化財課》 鳥取市には、鳥取砂丘の成り立ちや特徴的な植物や動物などの紹介をはじめ、砂の波模様「風紋」に関する実験を見ることができる山陰海岸国立公園「鳥取砂丘ビジターセンター」や、歴史や文化を学べる鳥取市歴史博物館「やまびこ館」、日本屈指の103cm反射望遠鏡やプラネタリウムなどを備えた国内有数の公開天文台「さじアストロパーク」など、まちの歴史や文化、自然を学べる多くの施設があります。 それぞれの施設は目的に応じた最適な場所に開設されていますので、皆さんには、市内各所の施設を訪れて、様々な知識を学び、また、その地域の魅力を知ってもらいたいと思います。皆さんの提案を参考に、各施設で充実した学びを提供できるよう運営方法を工夫・改善していきます。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名
17	岩倉小学校	6年	橋本美音
テーマ	4. 鳥取市のまちづくりについて		
提案要旨	鳥取市の観光アピールをいろいろな手段でしてほしい		
【提案内容】 鳥取市の観光をもっとアピールしたい。 理由は自然と人と食べ物が素晴らしいから。 そのすばらしさを生かしたイベントを開催したり、東京や大阪のような都会で鳥取市のよさをアピールしたら良いと思う。 お金がかかってしまうが、CMを作ったり、サイトを作って鳥取市のことを知ってもらいたい。 市民の皆さんに観光大使になってもらって、TikTok、Instagram、YouTubeなどにたくさん載せて発信してもらいたい。 さらに鳥取市の絵はがきを都会の親戚に送ってアピールしてもらったら良い。 こうすることで住みたい、働きたい人が増えれば経済が回る。観光をアピールすることをきっかけとして鳥取市の経済が回ると思う。			
【市長回答】 観光振興、観光をこれから取り組んでいくことは、鳥取の経済を活性化させ、いろんな産業の振興に繋がっていくということである。コロナ禍を経て、これから鳥取のよさをいろいろな手段で発信をして、多くの皆さんにお越しいただく、国内外からたくさんの方に鳥取市のよさを感じていただくというような施策を、これから進めていきたいと考えているところである。 いろんな情報、発信の手段があると思う。そのようなものをうまく活用して、鳥取市のよさを発信をしていくことによって、多くの皆さんに鳥取市に関心を持っていただく、実際にこちらにお越しいただくということになると思う。 特にこれから8月13日から15日までは鳥取しゃんしゃん祭りが第60回ということで、大きな節目のお祭りとなる。10月19日から22日までは、ねんりんピックはばたけ鳥取2024ということで、ねんりんピックで選手の皆さん、観客の皆さん、関係者の皆さんがたくさん鳥取にお越しいただくことになっており、とてもいい機会だと思う。 このような機会に、鳥取のよさを知っていただくということがとても重要である。 皆さんも、鳥取のよさをいろんな方に、いろんな形で発信していただければありがたい。そのことによって、鳥取がにぎわい溢れる、そのようなすばらしいまちになっていくと思う。			
【担当課回答】 ≪観光・ジオパーク推進課≫ 観光・ジオパーク推進課では、多くの方に鳥取市に訪れていただけるよう、鳥取市観光コンベンション協会が運営する鳥取市観光サイトのリニューアル支援やSNSを通じて、鳥取市の魅力を発信しています。また、東京や大阪、台湾などの国内外で行われるPRイベントに参加し、プロモーション展開しています。 鳥取しゃんしゃん祭などのイベント、鳥取砂丘や砂の美術館などの魅力ある観光地、二十世紀梨・松葉ガ二・白いかなどの美味しい特産物など、自然が豊かな鳥取市ならではのよいところをPRし、これからも国内外から多くの方にお越しいただけるように取り組んでいきたいと考えています。			

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名
18	久松小学校 修立小学校 城北小学校 久松小学校 久松小学校	6年 6年 6年 6年 6年	山本菜都 山内環奈 福田葉菜 植田晟司 森田 凧
テーマ	4. 鳥取市のまちづくりについて		
提案要旨	天候の悪い日でも安心して利用できる施設がほしい		
【提案内容】			
私たちは、天候の悪い日でも安心して利用できる施設が欲しい。 現在は、わらべ館があるが、室内で体を動かして遊ぶことができない。 天候の悪い日に体を動かして遊べる施設が少ない。だから、天候がよく変わる鳥取市には、天気の悪い日に遊べる施設が必要だと思う。 また、施設の工夫としては、遊具や床などで怪我をする人がいるので、怪我をしないように、やわらかい素材を扱うなどして怪我をする確率を減らすことができると思う。 危険なことなどをしている人がいないか、みんなが安全に遊んでいるかどうかを、確認するために職員を配置したらいいと思う。 他にも、フロアごとに内容を変えることで、小さい子と大きい子はぶつかって怪我をすることや、ボードゲームとサッカーをしたい人が同じフロアにいれば、ボールがボードゲームをしている人に当たることなどがあるが、フロアを分ければそんなことがなく、自分のやっていることに集中できる。 それ且つ、そこに学生が勉強や教え合いながら宿題ができる自習室や、幼い子でも小学生でも遊べる場所などを作って、子供たちが交流できると、差別や1人の人が1人ではなくなると思う。			
【市長回答】			
なかなかどれぐらいの施設をどこに作るのかというのは、十分、研究をしていく必要があるが、今、鳥取市が進めようとしている鳥取駅の周辺に、そのような施設を考えたらどうかということで、今、鳥取市の駅前の辺りを新たにリ・デザインをしようとしている。 駅前の空間を活用しようとする中で、人が集う、特に小さな子どもから大人まで、自由に集うことができるような、そのような施設、空間を作ったらどうかということを、今、具体的に研究して進めようとしている。 皆さんの提案も、その中で生かせる部分があれば、取り入れていったらいいのではないかと考えながら、提案を伺ったところである。			
【担当課回答】			
《政策企画課、まちなか未来創造課、人権推進課、協働推進課、幼児保育課、生涯学習・スポーツ課》 天候の悪い日でも体を動かして遊べる施設については、引き続き、市で研究していきますが、現在、鳥取市には身近な地域に地区公民館や体育館、児童館、人権福祉センターなどの色々な公共施設があり、また、鳥取市民体育館エネトピアアリーナには、1階の吹き抜け空間を使った天候に左右されないで利用できるフットサル場やスケートボード場があります。さらに、民間施設にも水泳などで体を動かして遊べるところもありますので、天候の悪い日には目的に応じて、市内の色々な施設を利用してもらえればと思います。 そのほか、市では鳥取駅周辺を市民の皆さんがワクワクする場所に再生する取り組みを進めています。この中で、若者が集い、楽しみ、交流できる空間づくりも研究をしていますので、提案の内容も参考にしていきたいです。			

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
19	城北小学校	6年	中西湊都			
テーマ	4. 鳥取市のまちづくりについて					
提案要旨	魅力あるまちづくりのためにレジャー施設を充実させてほしい					
【提案内容】 最近、鳥取県全体の人口が外に流出している。 2007年に60万人を切り、今は約55万人になっている。 その人口流出を止めるために、レジャー施設を充実させて、鳥取市を魅力のある楽しいまちにしたい。 私は天候を気にせずに遊べる屋内レジャープールが欲しい。屋内のプールはあるが、楽しく遊べる屋内レジャープールは鳥取市にはない。そのため、みんなの夏が楽しくなるようなプールをつくることを提案する。 次に、鳥取で有名な砂丘や梨などをモチーフにした施設を増やし、にぎわっていて、楽しそうで存在感のある鳥取市にしていくことを提案する。						
【市長回答】 鳥取県の人口、新しいデータでは53万人ぐらいになっている。 やはり人口が減っていかないようになると、若い世代の皆さん、特に20代前半の方が、県外、市外に転出されて人口が減っていくという特徴が鳥取市にはあるため、一旦、進学とか就職で市外に転居されてもまた鳥取がいいなということで、将来帰ってきていただける、そのようなまちにしていくためにはやはり、鳥取市の魅力を高めていくということが必要である。 そのような中で、新しい施設も必要だと思うが、屋内のレジャープールという提案をいただいたが、鳥取市だけではなかなかこういう施設を作っていくというのは、今のところちょっと難しいかなと思う。しかし、提案の趣旨は十分、理解させていただいた。 鳥取市の魅力を高めていく、そのような中で必要な施設は何かということも、引き続き研究をさせていただきたい。						
【担当課回答】 《政策企画課》 提案の趣旨である「鳥取市を魅力ある楽しいまちにして、人口の流出をおさえていくこと」は、とても大切な視点だと思います。「屋内レジャープール」については、整備や運営に必要な費用などの問題から現時点で実現は難しいと考えていますが、提案の趣旨の実現にはどのような手法が最適で実施可能なのか、引き続き、市で研究していきたいと思います。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
20	醇風小学校	4年	岡崎瑛大			
テーマ	4. 鳥取市のまちづくりについて					
提案要旨	電灯やガードレールをつけていないところにつけてほしい					
【提案内容】 私の提案は2つある。 1つ目は、電灯やガードレールをつけていないところにつけてほしい。理由は、夜、川沿いの道路を通ったとき、電灯がなくて怖かったから。 2つ目は、壊れているガードレールに修理をしてほしい。理由は、ガードレールが壊れていると、もしものときに危ないから。 私は、ガードレールや電灯をつけていないところにつけてほしいし、壊れていたら修理してほしい。						
【市長回答】 提案は全くその通りであり、街路灯、街灯についても、必要なところにはそれぞれ国道、県道、市道で設置をしてあるが、まだまだ十分でないようなところもある。 それから、街灯ということでこれは道路とは別に、各地域等での灯りとなるが、鳥取市もいろいろな補助制度を作っており、そのようなものを活用していただき、各地域で街灯の整備等も行っているところである。 そのようなことも引き続き進めていき、ガードレール等で修理が必要なものについては、各道路の管理者、責任者の方で速やかに修理をしていくことが必要である。						
【担当課回答】 《協働推進課》 本市は、夜間の犯罪防止のため、道路を照らす防犯灯を設置する事業を行っています。防犯灯が必要な場所について、地域の中で話し合っていていただき、担当課（協働推進課）へご相談ください。 《道路課》 道路課では、定期的な安全施設（ガードレールなど）の点検、市民の方からの情報等を基に現地確認し、必要に応じて修繕等を行っています。 また、通学路点検などで、危険な箇所について、必要性の高い順に安全施設の設置を行っています。 これからも、定期的に点検を行い、またみなさんからのご意見を参考に、安心・安全な道路にしていきたいと考えています。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
21	久松小学校	6年	久本悠加			
テーマ	4. 鳥取市のまちづくりについて					
提案要旨	商店街の活性化の取組をしてほしい					
【提案内容】 商店街を活性化させることを提案する。 昔はにぎやかで明るかった商店街が、今はもうやっていなくて、シャッターが閉まっているところが多い。 そのため、活性化するために、新しいお店を建てたり、それだけではなく、今あるお店を若い人や地域のみんなで復活させたりしてはどうだろうか。 このことにより、買い物や食べ歩きなど、人と人との交流を増やすことによって、楽しみができ観光客も増えると思う。						
【市長回答】 提案は全くその通りである。特に中心市街地の商店街が、かつての、数十年前になるが、そのような時代と比べると、少しにぎわいが少なくなっているということは感じるところである。これを、またにぎわいをいかにつくり出していくのかということで鳥取市も今、いろいろな取組をしている。 例えばライトアップをしていくとか、鳥取城跡を含めてこの若桜街道等について、いろんなライトアップしていくというようなことも取り組んでいるところであり、駅周辺の再生も今取り組んでいこうとしている。いろいろな形で、新しい時代の新しいにぎわいが出てくるような取組をこれからも進めていきたいと思う。						
【担当課回答】 《まちなか未来創造課》 空き家や空き店舗を再生して使っていく「リノベーション」によるまちづくりなど、商店街を含むまちなかの魅力が高まるような取組を行っています。 また、現在取組を進めている鳥取駅周辺の再整備では、賑わいのある駅をつくり、地下道や歩行者用の通路などの方法で商店街などと結ぶことで、人が歩いて回りやすくなるような駅周辺のまちを生み出し、まちなかの魅力をより一層高めていくことが大切だと考えています。 今後、いただいたご提案も参考にしながら、商店街や地域の皆さんと一緒に、鳥取駅と商店街の活性化に取り組んでいきます。 《観光・ジオパーク推進課》 観光・ジオパーク推進課では、まちなか観光の推進のため、鳥取城跡の石垣のライトアップや「鳥取城跡ときめきマルシェ」などのイベント、また若桜街道商店街で麒麟獅子やしゃんしゃん傘をモチーフにした影絵や堤灯による演出を行うなど、多くの人に訪れてもらえるような取組をしています。これからも、このような中心市街地のにぎわいづくりにつながる取組を進めていきたいと考えています。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
22	久松小学校	6年	若松 遼			
テーマ	4. 鳥取市のまちづくりについて					
提案要旨	歩道を増やしたり広くして歩きやすくしてほしい					
【提案内容】 歩道を増やしたり、広くして歩きやすくしてほしい。 私はこの夏休み中に学童に通っている。その途中には歩道がないところがあり、車や自転車とぶつかりそうになってしまう。 友達の通学路では、自転車と歩行者がぶつかりそうな場所や、おじいさんおばあさん、車椅子の人が通りにくそうな場所があると聞く。 道が広くなると、多くの人が通れたり、子連れ、ベビーカーの人が通れる。 歩きやすくするためには、障害のある人も歩きやすくする必要があるため、点字ブロックも必要だと思う。 これらの理由で、私は歩道を増やしたり、広くして歩きやすくしてほしいことを提案する。						
【市長回答】 鳥取市としても、障がいのある方もない方も安心して歩行していただけるような、また、歩くことが楽しいと、そのような空間になるような取組を、順次進めているところである。 歩道を広くするという事は工事が必要になるため、一挙にはなかなか難しいところがあるが、安全に歩いていただけるような、そのような道路に順次していきたいと考えている。						
【担当課回答】 《都市企画課》 鳥取市では、全市的なバリアフリー化の基本方針となる「鳥取市バリアフリーマスタープラン」を令和5年に策定しました。その中には、お年寄りや障がいのある人などを含むすべての人が安全、快適に道路を歩くことができるように、歩道を広げる、段差を無くす、点字ブロックを設置するなどの道路のバリアフリー化に関する基本的な取り組みが示されており、今後は、その基本方針に基づいて、お年寄りや障がいのある人が多く利用する駅や郵便局、スーパーマーケット、病院などの施設を結ぶ道路を重点的にバリアフリー化することで、すべての人にとって歩きやすい道路となるように順次整備していきたいと考えています。 《道路課》 道路課では、歩道を歩くすべての方に広く、安全に歩行できるようになる取り組みのひとつとして、小中学校の先生、PTA関係者などと年一回、通学路点検などを行っています。各学校から出てきた要望（道路を広くしてほしいとか、車と歩行者がぶつからないよう分けてほしいなど）を、みんなで現地を確認し、必要性の高い順に歩行者の安全等を確保する工事を順次行っているところです。 これからも、みなさんからのご意見を参考に、安全に歩いていただけるような道路にしていきたいと考えています。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名			
23	久松小学校	6年	生田 暖			
テーマ	4. 鳥取市のまちづくりについて					
提案要旨	放課後に友達で集まって勉強する施設がほしい					
【提案内容】 放課後に友達で集まって勉強する施設が欲しい。 私は友達と遊ぶときは、わらべ館などで宿題をしている。わらべ館で勉強できるスペースはライブラリーコーナーというところで、ここは本読んだりできるところでもある。 私たちだけのスペースではないので、勉強する人が多いと他の人の迷惑にもなる。また、机や椅子の数が少ないということも困っている。 校区内には、県立図書館も近くにあり、自習室を開放されているが、私が友達と勉強しに行くと空いていなかったりして、開放されている曜日がバラバラで不便である。 また、平日は大人が多く利用しているので子供だけでは入りにくい。 このような不便な点があるため、小学生や中学生などを中心とした、気軽に勉強できるスペースがあればとても便利だと思う。						
【市長回答】 新しい取り組み（駅前の空間を活用する取り組み）を今進めているなかで、既存の施設も、小学生、中学生の皆さんに、利用していただきやすいような環境にしていかなければならないし、将来、鳥取市がさらに素晴らしいまちになるようにということで、この中心市街地のにぎわいを取り戻すような取り組みをしていくなかで、友達と一緒に集まって、勉強していただいたり、過ごしていただけるような空間も、その中で何とか確保できるよう検討していきたい。						
【担当課回答】 《まちなか未来創造課》 現在、鳥取駅周辺を市民の皆さんがワクワクする場所に再生する取り組みを進めています。 この中で、若者が集い、楽しみ、交流できる空間づくりも研究をしていますので、提案の内容も参考にしていきたいと思います。 《人権推進課（中央人権福祉センター）》 地域食堂では、食事の提供だけでなく、学習支援等を実施している地域食堂もありますので、お近くの地域食堂にお問合せ頂いたうえで、ご利用ください。 《協働推進課》 地区公民館は市内に60館と1分館あり、おおむね小学校区ごとに設置しています。広く市民に開放されているスペースや図書も整備されている公民館も多数あります。夕方5時ごろまでは事務室に職員が常駐していますので、放課後子どもだけでも安心してご利用いただけます。 《幼児保育課》 放課後に友達と集まって勉強する場所の一つとして児童館があります。その他にも鳥取駅周辺でご利用いただける施設として、福祉文化会館の学習ルームや、中央図書館の学習コーナなどの公共施設もご利用いただければと思います。						

令和6年度鳥取市こども未来会議 市長への提案

提案番号	学校名	学年	氏名
24	中ノ郷小学校	6年	田中希望
テーマ	4. 鳥取市のまちづくりについて		
提案要旨	動物が捨てられない環境にしてほしい		
【提案内容】 動物が捨てられない環境にしたい。 動物が捨てられる理由は、災害のときに避難所に一緒に入れない。次に住むアパートに動物は駄目という決まりがあったり、保護団体が少ないことだと思う。 それらの原因を解決するために、私たち人間だけではなく、動物の視点でも考えて保護施設を増やしたり、動物OKのアパートを増やしたり、動物も一緒に入れる避難所を作ると良いと思う。 また、保護団体を増やしたり、犬も入れる公園を作ったりしたらいいと思う。 動物にも人間にもやさしい鳥取市を作りたい。			
【市長回答】 災害が発生したときにペットと一緒に避難できるような避難所については、一部取り組んでおり、ペットと同伴で避難していただける避難所の開設をしていかなければならないというふうに思っている。 また、動物を飼ってそれを途中で放置されるというようなことがないように、やはり動物と人とが共存できる、そのようなやさしいまちで鳥取市はあるべきだと思っているため、そのことについても、これからも取り組んでいきたい。			
【担当課回答】 ＜危機管理課＞ 本市の避難所には動物アレルギーの方など動物が苦手な方も避難してこられることから、ペットと飼育者が別々のスペースで過ごす同行避難を基本としており、本市ではペット同行者の受入訓練を行うなど取り組んでいるところです。 なお、ペットを飼育されている方がためらうことなく避難するためには、飼育されている方が平時からペットとどう避難するのかをそれぞれで考え、同行避難に備えてペットがケージに入ることに慣れさせたり、避難所以外の避難先を検討していただくことなども大切と考えており、各ご家庭にあった災害への備えをお願いします。 ＜生活安全課＞ 保健所では、犬猫の譲渡会など、飼い主の方にペットを心から思いやり、最期まで責任を持って飼って頂くための活動を行っており、今後も継続して開催していきたいと思っています。 また災害時における避難については、どこに、どのように避難するのか、普段より飼い主の皆様が心がけてほしいことであるため、今後各関係機関と連携を取りながら、周知啓発を行っていききたいと考えています。			